

会 議 要 旨

会 議 名 (審 議 会 等)	令和5年度 第1回南あわじ市社会教育委員会	
事 務 局 (担 当 課)	南あわじ市教育委員会 社会教育課	
開 催 日 時	令和5年4月25日(火) 14時00分～15時00分	
開 催 場 所	南あわじ市役所 304・305 会議室	
出席者	委 員	西島敏子、松尾美和、松下良卓、関口功、木田朱美、 平石善孝、坂本頼保
	事 務 局	山家光泰 (社会教育課長) 佐藤秀明 (社会教育課係長) 西野実希 (社会教育課社会教育主事)
	そ の 他	無
会 議 次 第	1, 開 会 2, 社会教育委員の概要説明 2, 報告事項 3, 議 事 (1) 令和5年度事業計画 (2) 提言書、対話の場について (3) 公民館長との意見交換について (4) その他 4, 今後の予定について 5, その他 6, 閉 会	
議 事 要 旨	別紙のとおり	

第1回南あわじ市社会教育委員会 議事要旨

○ 議 事

(1) 令和5年度事業計画

- ・ 昨年度まではコロナ禍で参加人数に制限のあるものが多かったが、今年度より規制が緩和された場合、参加できるものには積極的に参加するように。
- ・ 今年度の淡路地区社会教育委員協議会の研修会は洲本市で行われる。

(2) 提言書、対話の場について

- ・ 令和3年度は教育長、令和4年度は市長とそれぞれ対話の場をもった。声が直接届き、その場で回答が得られるという点で非常に手ごたえを感じた。
- ・ 昨年度最後の会議で、形に残るものとして提言書の重要性を話し合った。今期は提言書を出す方向で考えていく。
- ・ 教育委員会に対しては提言書、首長部局に対しては対話方式で社会教育委員の意見を伝えていくこととする。

(3) 公民館長との意見交換について

- ・ 第3回の会議で公民館長と意見交換する内容を決める。
- ・ 第4回の会議で公民館長に来てもらい、意見交換をする。

(4) その他

【地域防災について】

- ・ 地域の消防団のなり手がなく、地域の防災力が落ちている。
- ・ 20年以内に南海トラフ地震が起こる可能性が非常に高い。そのためにも地域の防災意識、まとまりが必要。社会教育委員で地域の防災意識を高める手段を考えていきたい。
- ・ 南あわじ市の消防団員の定数は高い方だが、実際に昼間に現場に行き動ける人は非常に少ない。
- ・ 女性の消防団「なでしこ分団」があるが、基本的には現場には出ない。救命講習などを行っている。
- ・ 津波の被害が大きく想定されている地域とそうでない地域で意識の違いがある。